

愛知県臨床衛生検査技師会

平成27年度
精度管理調査報告会
微生物検査部門

精度管理事業部員
実務担当者

中根一匡
蔵前 仁
原 祐樹
中根邦彦

江南厚生病院
刈谷豊田総合病院
名古屋第二赤十字病院
岡崎市保健所

平成28年3月12日

概要

【参加施設】

63施設

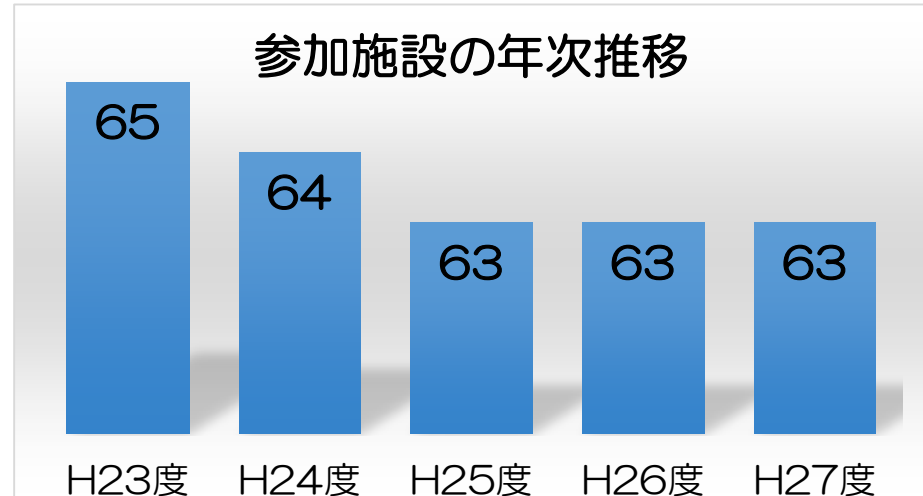
【設問内容】

菌株 2種

菌株1 菌の同定と薬剤感受性

菌株2 菌の同定と薬剤感受性

フォト設問 2題



評価設定

評価	回答	内容
A	正解	「基準」を満たし、優れている
B	許容正解	「基準」を満たしている
C	不正解	「基準」を満たしておらず、改善が必要
D	不正解	「基準」から逸脱し、早急な改善が必要
評価対象外	未参加 未回答	

菌株1の正解

【菌名】

Enterococcus faecalis

【薬剤感受性】

	MIC値 ($\mu\text{g/ml}$)	判定	阻止円 (mm)	判定
VCM	≥ 8	I (8~16) R ≥ 32	≤ 16	I (16) R (16)
TEIC	≤ 8	S	≥ 17	S
PCG	≤ 8	S	≥ 16	S

菌株2の正解

【菌名】

Klebsiella pneumoniae subsp. *pneumoniae*
(KPC型カルバペネマーゼ産生株)

【薬剤感受性】

	MIC値 ($\mu\text{g/ml}$)	判定	阻止円 (mm)	判定
IPM	≥ 2	I (2) R (≥ 4)	≤ 17	R
CMZ	≥ 16	S (16) I (32) R (≥ 64)	14~15	I
MINO	≥ 8	I (8) R (≥ 16)	13~15	I

フォトサーベイの正解

【フォト設問1】

Kudoa septempunctata

(クドア・セプテンポンクタータ)

【フォト設問2】

Vibrio parahaemolyticus

菌株同定の成績

	推定微生物名	回答数	回答率 (%)
菌株 1	<i>Enterococcus faecalis</i>	61/62	98.4
	<i>Enterococcus</i> sp.	1/62	1.6
菌株 2	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>pneumoniae</i>	62/62	100

菌株1の薬剤感受性評価成績

【微量液体希釈法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
VCM	55/59 (93.2%)	1/59 (1.7%)	3/59 (5.1%)	—
TEIC	58/59 (98.3%)	—	1/59 (1.7%)	—
PCG	54/57 (94.7%)	—	3/57 (5.3%)	—

【ディスク法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
VCM	3/3 (100%)	—	—	—
TEIC	3/3 (100%)	—	—	—
PCG	3/3 (100%)	—	—	—

菌株2の薬剤感受性評価成績

【微量液体希釈法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
IPM	56/59 (94.9%)	1/59 (1.7%)	3/59 (3.4%)	—
CMZ	46/56 (82.1%)	3/56 (5.4%)	7/56 (12.5%)	—
MINO	48/58 (82.8%)	9/58 (15.5%)	1/58 (1.7%)	—

【ディスク法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
IPM	2/3 (66.7%)	—	1/3 (33.3%)	—
CMZ	4/4 (100%)	—	—	—
MINO	4/4 (100%)	—	—	—

フォトサーベイの成績

	推定微生物名	回答数	回答率 (%)
フォト設問1	<i>Kudoa septempunctata</i>	63/63	100
フォト設問2	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	63/63	100

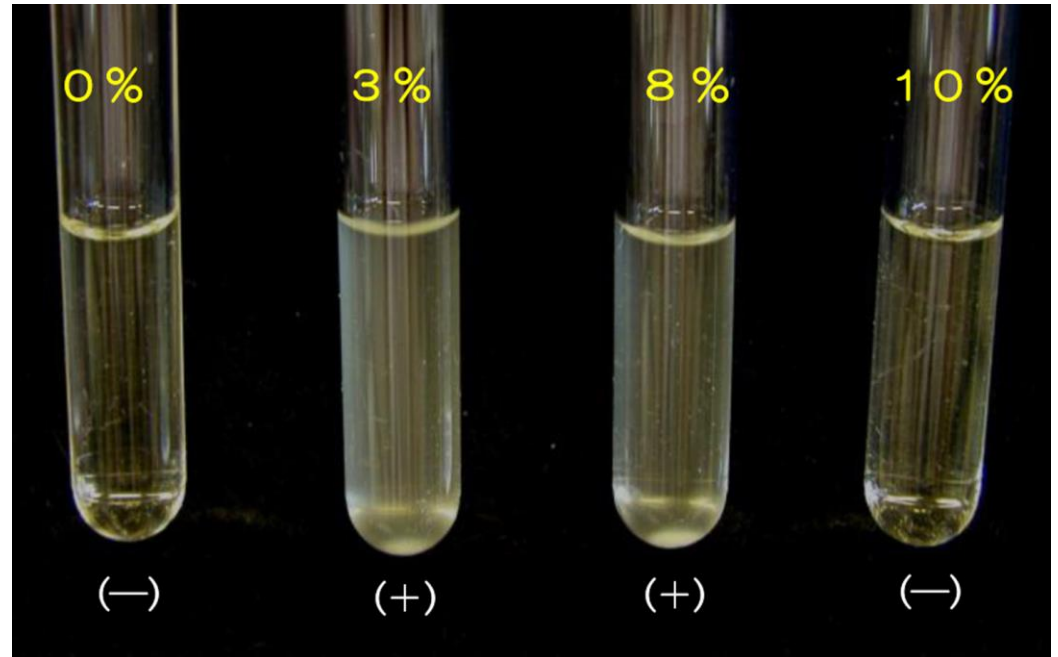
Kudoa septempunctata



Vibrio parahaemolyticus



TCBS寒天培地



NaCl加ペプトン水

Vibrio parahaemolyticus

	TCBS	オキシターゼ活性	TSI			LIM			オルニチン脱炭酸	NaCl 加ペプトン水 発育試験			
			高層部	斜面部	ガス	リシン脱炭酸	インドール産生	運動性		0%	3%	8%	10%
<i>V. parahaemolyticus</i>	緑	+	+	-	-	+	+	+	+	-	+	+	-
<i>V. cholerae</i>	黄	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-
<i>V. fluvialis</i>	黄	+	+	+	-	-	d	+	-	-	+	+	-
<i>V. vulnificus</i>	緑	+	+	-	-	+	+	+	d	-	+	-	-
<i>V. alginolyticus</i>	黄	+	+	+	-	d	+	+	+	-	+	+	+

d : 陽性と陰性の両方あり

まとめ

【参加施設】

参加施設は63施設で横ばい傾向であった。

【菌名同定】

菌株1では、「A評価」の施設は、62施設中61施設（98.4%）、菌株2では、62施設中すべてが「A評価」であり、良好な成績であった。

【薬剤感受性】

菌株1および菌株2ともに「A評価」の施設が多く、良好な成績であった。

【フォトサーベイ】

フォト設問1およびフォト設問2ともに回答した63施設すべてが「A評価」であり、良好な成績であった。

最後に

- 今回、2種類の菌株を用いた精度管理調査を行った。2種類の菌株は精度が管理された菌株であり、菌名同定および薬剤感受性の結果において大きな偏りは見られず、良好な成績であった。
- 回答方法は昨年度より日臨技JAMTQC精度管理システムを使用し回答していただいた。一部の参加施設からは、回答に評価対象外の項目が多く、誤入力を誘発しているとの意見も得られたため、更なる改善の余地が示唆された。
- 今後はシンプルな回答による誤入力防止に努め、より精度の高い精度管理調査を実施し、参加施設および県下の感染症診療の向上に貢献できる活動を展開していきたい。